

2017年9月27日

日立オートモティブシステムズ株式会社

日立オートモティブシステムズの ADAS ECU が 日産の新型「日産リーフ」に採用

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)のADAS*1 ECU*2が、2017年9月にフルモデルチェンジして発表された日産自動車株式会社(以下、日産)の新型「日産リーフ」に採用されました。

*1 ADAS: Advanced Driver Assistance System(先進運転支援システム)

*2 ECU: Electronic Control Unit(電子制御ユニット)

ADAS ECUは、ACC(Adaptive Cruise Control: 車間距離制御)システムや衝突被害軽減ブレーキシステム、車線逸脱警報システムなど、複数の運転支援システムを単一のコントローラーに統合したADASの中核製品です。

日立オートモティブシステムズのADAS ECUは、2009年に発売された日産の「フーガ」に初めて搭載されて以降、量産実績を重ねており、「日産リーフ」には2015年から採用されています。

今回の新型「日産リーフ」には、高速道路における渋滞走行と長時間の巡航走行の2つのシーンで、アクセル、ブレーキ、ステアリングのすべてを自動的に制御し、ドライバーをサポートする高速道路同一車線自動運転技術「プロパイロット」と、アクセル、ブレーキ、ハンドル、シフト、パーキングブレーキまで、駐車操作のすべてを自動制御する国産車初の本格的自動駐車システム「プロパイロット パーキング」が採用され、当社はそれらの機能をADAS ECUで支援します。「プロパイロット」搭載車種への当社製ADAS ECUの採用は、2016年8月にフルモデルチェンジした「セレナ」、2017年6月にマイナーチェンジした「エクストレイル」に続き3車種目となります。

今後も日立オートモティブシステムズは、自動車メーカーにおける自動運転技術搭載車の実用化や普及に貢献していきます。



フルモデルチェンジした日産の新型「日産リーフ」

(写真は新型「日産リーフ」ZE1)



ADAS ECU

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上